

プレントリー面談とは（NEDO 国際エネルギー実証事業）

1. 概要

- 公募の応募に必須な要件です。
- プレントリー申請書に基づき、NEDO との面談を実施します。
- 面談終了時に応募者が技術分野と応募区分（成立性調査／実証設計）を決定します
- プレントリー面談は、採択審査には影響しません。

2. 目的

- 提案内容の事前確認を通じ、応募に際しての判断材料を提供します。
- 以下の事項を確認します。なお、②および③は面談終了時に応募者が決定します。決定が困難と思われる場合は、事前に案件相談（*）を申し込まれる事を推奨します。

- ① 技術課題の妥当性
- ② 応募対象となる技術分野
- ③ 応募区分（成立性調査／実証設計）
- ④ 共同提案の場合の代表法人（通常は申請書を作成した企業です）

3. 面談内容（基本アジェンダ・1 時間程度）

- 会議目的の確認
 - 応募要件であるプレントリー面談であることを再確認します。
- 応募者説明（約 15 分）
 - 実証で検証したい技術課題について
 - 実証後の事業構想について
- 質疑応答（約 15 分）
 - 技術面・事業面・制度面に関する質疑です。
- 申請書記載の質問事項に対する NEDO からの回答（約 10 分）
 - それまでの議論の中で回答済みとなっている場合があります。
- まとめ（5～10 分）
 - 技術分野および応募区分を決定します。
 - 応募時の注意事項を共有します。

4. 面談形式

- 実施形態
対面（NEDO 高輪ゲートウェイオフィス）またはオンライン（Teams）で実施します。
技術説明資料（パワーポイント等）を準備頂く事で、より具体的な議論が可能です

- 参加者
 - 応募者側：実施責任者又は連絡担当者を含め関係者のご参加をお願いします。
共同提案の場合、代表法人の参加が必須です。共同提案者の参加も可能です。
 - NEDO 側：技術分野を所管する推進部門から、専門知識を有する担当者が数名、事業統括部（事務局）から数名が参加します。
複数の技術分野が想定される場合は、複数の推進部門から参加します。

5. 実施時期・スケジュール

- プレントリー申請を受領後、プレントリー面談期間（8月24日から9月10日）で日程を調整の上、面談を実施します。
- 提案内容に応じて参加者を調整するため、日程調整に時間を要する場合があります。
- 面談日程は、調整の都合上、必ずしもご希望に添えない場合がございます。
- 日程調整は申請書を受領したあと、順次対応します。早めの申請を推奨します。

6. プレントリーの前提条件

- 面談では技術分野と応募区分を決定頂くことになります。提案内容が一定程度整理されていることが前提です。
- 技術課題・対象国・実証構想が一定程度検討が進んでいる事が推奨されます。

7. 面談後の取扱い

- 面談で決定した技術分野および応募区分に基づき応募をお願いします。
- 追加相談は、公募開始前まで実施可能です。

8. 備考

- 申請書と会議資料は NEDO 海外事務所に共有する場合があります。また、面談に海外事務所員が同席する場合があります。記載内容は輸出規制に抵触しない内容に限定してください。また、社内に必要な輸出管理手続がある場合は、あらかじめ実施してください。

(*)案件相談とプレントリー面談の違い

	プレントリー面談	案件相談
位置付け	公募に応募する際の必須条件	任意
実施時期	公募予告から公募開始前	いつでも（通年実施）
目的	応募にあたり、技術課題を確認し、対象分野を確定する	検討中の案件の、本事業への適合性を相談。 対象国や技術課題を検討中でも相談可能
申し込み方法	本事業の公募予告にある「プレントリー申請書」に必要事項を記入してメールにて申請	本事業のホームページにある説明「ご相談フォーマット」に必要事項を記入の上申請。 脱炭素化・エネルギー転換に資する我が国技術の国際実証事業 相談窓口